



Shiho Azuma

東 志保

株式会社Lily MedTech
代表取締役

【会社所在地】〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ701

【事業紹介】乳がん検診率の向上と早期発見への貢献を目指し、リング型の超音波振動子を使用した乳房の3Dスキャンが可能な、被ばくや痛みのない女性に優しい乳房用画像診断装置の開発。



Lily MedTech

will realize a world without the word "Fight against breast cancer"

【PROFILE】

1982年生まれ
アリゾナ州立大学 航空宇宙工学科修士課程修了
株式会社JEOL RESONANCE
2015年 東大の超音波CTプロジェクトに参画
2016年 株式会社Lily MedTech創業 代表取締役就任

【創業年】2016年

アリゾナ州立大学の航空宇宙工学科修士。帰国後JAXAで電機エンジンの研究に従事し、株式会社JEOL RESONANCEにて、核磁気共鳴装置の開発に従事。2015年に東大プロジェクトに参画し、翌2016年に株式会社Lily MedTech 創業。

【座右の銘】 考えは言葉となり、言葉は行動となり、
行動は習慣となり、習慣は人格となり、
人格は運命となる。

母親現役世代女性と そのご家族を乳がんから救いたい。

私が高校生の頃に母親をがんで亡くしたことがきっかけで起業しています。乳がんは、他のがんと異なり若い人が罹患しやすい一方、早期に発見・治療ができれば治るがんです。女性にとって、30～50代は仕事、恋愛や結婚や出産、育児と非常に選択肢の多い年代でもあります。母親現役世代の選択肢を減らさないよう、罹患前と出来るだけ同じような生活ができるよう、弊社の装置で少しでも貢献出来たらと思っています。

会社の特徴

「乳がんと闘う」 この言葉のない世界を目指して

JST、NEDO、AMED、東京都など、多数の公的機関等からご支援を頂きながら開発に邁進しています。2019年にはJ-startup企業に選定されました。また、新日本EY、Plug and Play、Forbes Japanなどからの受賞歴や、日経新聞等への掲載歴も豊富で、Milken Conference Asiaをはじめとするイベントに登壇するなど、国内外から応援していただいています。

事業・サービスの強み

痛みや被ばくのない乳がん用画像診断装置を提供し 世界の女性達に貢献します。

超音波を送受信するプローブを円環状に並べ、上下に移動しながら撮像することで、乳房全体の3D画像を取得します。ベッドにうつ伏せになり、お湯が入った水槽に片胸を入れるだけで撮像が可能です。非接触のため直接胸に触れることはなく、圧迫による痛みもありません。自動なので操作者の技術に依存せず、また、超音波なので被ばくはなく、高濃度乳房の方でも感度が下がりにくいです。将来はAIによる診断支援機能も搭載します。



▲ミルケン・カンファレンス・アジアに登壇



▲開発中の装置イメージ(薬事未承認)